

# 時空を超えて

～豊前街道を歩きながら歴史を学ぶ～

熊本県立南関高等学校

地域に根ざした学校づくりに取り組んでいる本校は、本年度、従来行われていた鍛錬遠足を見直し、より郷土の理解につながる行事として『豊前街道』時空えんそく』を実施しました。

『豊前街道』時空えんそく』というネーミングは下田眞一郎校長の発案で、旧豊前街道の歴史的遺物にふれながら歩くことで「時間と空間」を超えた「遠足」になることを企図したものです。



本校の行事としては初めての試みでしたので、準備も念入りに行いました。体育科を中心に有志の職員で試走を2回ほど行い、道路状況を把握し、トイレ休憩や昼食をとる場所を選定し、交通指導の必要な箇所を検討しました。また、事前学習会を遠足の3日前に体育館で行い、目的や行程の確認と合わせて、街道沿いにある歴史的遺物の解説を映像を交えて行いました。

## 『豊前街道』時空えんそく』実施要項

- 1 期日 平成24年11月16日(金)
- 2 行程 山鹿惣門→南関御茶屋跡(約17km)
- 3 ルール
  - ・5～6名のグループで歩く
  - ・チェックポイントを4ヶ所設置する
  - ・スタンプウォークラリーの形式にする
  - ・各自おにぎりを持ってくる



「えんそく」当日は晴天で、一人の遅刻・欠席もなく集合しました。バスで山鹿へと移動し、9時30分に山鹿惣門を出発。温泉町山鹿の風情あるたたずまいの中を歩き、最初のチェックポイントである山鹿市博物館へ到着。ここは西南の役の激戦地です。郡境の碑を過ぎ、歴史的遺構として整備してある腹切り坂を下り、細川の殿様も休憩したと言われる光行寺で保護者からの差し入れをいただきました。幕末の偉人吉田松陰も宿泊した歴史ある肥猪(こえい)の宿場跡では、南関町のゆるキャラ「なんかんトッパ丸」も出迎えてくれ、生徒たちも元氣百倍。保護者・地域住民の方々の声援を浴びながら、全員が制限時間内に歩き通しました。グループで郷土の歴史を学びながら歩くウォークラリーの形式であったことで、生徒たちの充実感も大きなものになったようです。

(文責 教頭 西澤頼孝)